

第 10 産 業 経 済

第 10 産 業 経 済

群馬県では「群馬県産業振興基本計画」に基づき、産業構造の変革を好機と捉え、県経済を支える製造業をはじめとした既存産業の強みを生かし、多様な人材を巻き込み、新しい考え方などを取り入れながら、未来を見据えた群馬県ならではの未来産業の創造を目指し施策を推進している。

令和 7 年度は、長引く物価高騰や人手不足に加え、米国関税措置の影響により、県内中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況にあった。

産業経済部では、このような状況に直面する事業者の経営基盤の強化を図るため、商工団体や金融機関等と連携して経営相談や資金繰りを支援したほか、ぐんま賃上げプロジェクトにより、賃上げの促進、適正な価格転嫁や生産性の向上に取り組んだ。

あわせて、新たな価値や富を創出するための取組として、デジタル技術を活用した新ビジネスの創出や自動車産業の構造転換に対応するための支援を行うとともに、スタートアップ企業を支援した。

加えて、近未来構想の実現に向け、デジタルクリエイティブ人材の育成や、クリエイティブ産業の集積・創出に取り組むとともに、リトリートの聖地の実現に向けた観光施策に取り組んだ。

【令和 7 年度の重点施策及び主な取組】

- 1 米国関税措置や物価高騰への対応
 - ・群馬県米国関税総合対策本部、群馬県米国関税対策会議
 - ・経営サポート資金（協調支援型特別保証要件）
 - ・EXPO チャレンジ支援補助金
 - ・特別高圧電力価格高騰対策支援
 - ・ぐんま賃上げプロジェクト
- 2 経営基盤の強化
 - ・小規模事業経営支援事業費補助
 - ・ぐんまネクストジェネレーター
 - ・事業承継支援
 - ・スマートファクトリー創出支援
- 3 新たな価値や富を創出する取組
 - ・全県リビングラボの推進
 - ・次世代モビリティ産業参入支援
 - ・スタートアップ支援
- 4 近未来構想の実現に向けた事業の推進
 - ・デジタルクリエイティブ人材の育成及びクリエイティブの拠点化
 - ・心と身体を癒やすリトリート聖地化のための観光施策

1 産業政策費

(1) 社会参加費

決算額 1,243 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴き県政に反映するとともに、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等を支出した。

所 属 数	金 額
産 業 経 済 部 6 課 6 所	1,243 千円

(2) 産業政策企画推進

決算額 21,979 千円

① 産業情報収集・サポートガイド作成

ア 経済産業省等の発表資料や、県内中小企業・関係団体に関わる情報を収集、分析し、県内経済の状況を把握した。

イ 県や国等の中小企業支援施策、制度を網羅した「企業サポートガイド」を作成した。

② 群馬県産業振興基本計画の推進

群馬県における産業経済分野の基本指針となる群馬県産業振興基本計画を推進した。

③ ぐんまネクストジェネレーター

意欲ある若者とさらなる成長を求める群馬県企業をマッチングすることで、群馬県企業のバージョンアップと若者の成長を後押しした。

区 分	実績
企業と若者のマッチング件数	9 件

④ S D G s 推進

S D G s を経営戦略として活用する企業を増やし、持続可能な経営への転換を促すため、情報発信に取り組んだ。

区 分	参 加 者
情報発信（S D G s ぐんまビジネスプラクティス紹介団体）	9 団体

(3) ぐんま賃上げ促進支援金

決算額 1,148,560 千円

県内に事業所を有する賃上げを行った中小企業等に対して支援金を支給した。

区 分	支 援 額	事業者数	人 数
賃上げ 5%以上	5 万円/人 (最大 40 人分、上限 200 万円)	2,140 事業者	19,745 人
賃上げ 3%以上 (小規模事業者の特例)	3 万円/人 (最大 20 人分、上限 60 万円)	193 (※)	584
合計		2,333	20,329

※賃上げ 5%以上区分との併用を含んだ事業者数

(4) 中小企業連携組織対策

① (公財) 群馬県産業支援機構運営費補助

決算額 123,984 千円

中小企業の中核的支援機関である(公財)群馬県産業支援機構の運営費を助成し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事業名	補助額
(公財)群馬県産業支援機構運営費補助	123,984 千円

・令和7年度事業実績（主な事業・他の委託事業費も含む）

区分	内容
経営支援	ビジネスサポート BASE ぐんま運営(相談 1,819 件)、よろず支援拠点(相談 13,331 件)、事業承継・引継ぎ支援センター(相談 361 件、成約 37(※)件)、プロフェッショナル人材戦略拠点(相談 274 件、成約 94 件)、中小企業活性化協議会(相談 165 件、再生計画策定実績 55 件)
取引開拓支援	下請取引あっせん(紹介 328 件、成立 36 件)、広域商談会(受注商談 217 件)・個別商談会(商談 122 件)の開催、展示会出展支援(2 回、196 社)、下請取引適正化事業(相談 224 件)
ものづくり技術・産学連携支援	群馬ものづくり現場新人研修(3 回、130 人)、スマートファクトリー創出支援(導入 40 件)、競争的資金獲得支援等(49 件)

※他センターとの連携は 0.5 カウント

② 中小企業連携組織対策事業費補助 決算額 134,731 千円

群馬県中小企業団体中央会に人件費を補助し、中小企業の組織化及び事業協同組合等への指導を行うとともに、同会が行う会員の人材育成や経営力強化などを支援し、中小企業団体の育成と運営の安定を図った。

事業名	補助金額
群馬県中小企業連携組織対策事業費補助金	134,731 千円

・補助対象職員数・指導実績

区分	内容
補助対象職員数	指導員 18 人、職員 2 人
指導実績	実地指導 1,625 件、窓口指導 2,221 件

(5) 小規模事業対策 決算額 1,664,763 千円

① 小規模事業経営支援事業費補助

商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等及び商工会連合会が行う商工会指導事業等に助成し、小規模事業者の振興と経営の安定を図った。

主な事業活動の内容は、次のとおり。

- ・金融、税務、経理、販売管理、労務、技術の改善その他経営に関する指導等
 - ・小規模事業者の経営の改善発達に資する地域の活性化又は商工業の振興に関する事業の実施、協力、指導
 - ・経営、技術、各種制度等に関する情報、資料の収集及び提供
- 令和7年度における主な事業実績等は以下のとおり。

・補助対象職員設置数

(令和7年4月1日現在)

区 分	団体数	経営指導員	経営支援員	事務局長
商工会	43 団体	92 人	73 人	30 人
商工会連合会	1	19	6	
商工会議所	10	70	22	3
計	54	181	101	33

・指導実績

区 分	指 導 件 数		
	巡回指導	窓口指導	創業指導
商工会	31,546 件	24,567 件	281 件
商工会連合会	9,386	13,361	544
商工会議所	904	673	
計	41,836	38,601	825

・補助額

区 分	補 助 金 額
商工会連合会・商工会	1,150,728 千円
商工会議所	504,402
計	1,655,130

② 小規模事業者エキスパートバンク事業費補助

商工会議所及び商工会連合会が小規模事業者及び創業を予定する者に専門家を派遣し、指導助言等を行うことにより、経営改善を図る経費を支援した。

事 業 名	事 業 内 容	補 助 金 額
小規模事業者エキスパートバンク事業費補助	派遣回数 103 件	3,332 千円

③ 商工会議所連合会補助

群馬県商工会議所連合会が行う商工業者振興事業等及び各商工会議所が行う広報活動事業等に助成し、商工会議所連合会及び各商工会議所の健全な育成と振興を図った。

事 業 名	補 助 金 額
群馬県商工会議所連合会補助	6,300 千円

④ 中小企業サポーターズ制度

県内の金融機関と、中小企業支援機関との連携による企業支援制度「群馬県中小企業サポーターズ制度」を県が運営し、きめ細かな中小企業の経営支援を展開することにより、県内中小企業の経営力のさらなる向上を図った。

区 分	発行回数
県中小企業サポーターズメールマガジン	26 回
サポーターズミーティングの開催	1 回 (72 人)

(6) 計量検定所

決算額

31,898 千円

計量法に基づき、特定計量器の検定及び検査等を実施するとともに、特定計量器を製造又は使用する事業者に対する立入検査を行い、正確な計量器の供給と適正な計量の確保を図った。

区 分	検定・検査数
検定（タクシメーター、燃料油メーター、血圧計等）	10,858 個
検査（基準器検査、計量証明検査等）	372 個
立入検査（燃料油メーター、商品量目、届出・登録事業者等）	84 戸
「指定定期検査機関」による定期検査	2,234 個

2 未来投資・デジタル産業費

(1) デジタル産業創出

決算額 137,313 千円

① ぐんま未来イノベーションLAB

オープンイノベーションによる新たなビジネス創出等を目的とした異業種連携のプラットフォーム「ぐんま未来イノベーションLAB」により、経営者や中核人材を対象とした連続セミナー・交流会を実施した。

区 分	事業内容	事業費
未来イノベーションLAB運営	「新たな価値」・「イノベーション」を創出するため、会員との共催企画（課題解決型ワークショップ等）や専用ウェブサイトでの情報発信（会員の課題・ニーズ等）などを行い、会員同士のネットワーク形成による自発的な共創プロジェクト創出を支援した。 会員数：931者（令和8年3月末日時点） 共催企画開催回数：4回 共催企画参加者数：延べ92名	1,284千円
未来共創セミナー	世界のビジネスの潮流やデジタル技術の動向、企業のイノベーション事例、変革期における経営の考え方などを学ぶ連続セミナーを開催した。 開催回数：6回 参加者数：延べ503名	

- ② 地域の産業社会にイノベーションをもたらす可能性のある、デジタル技術を活用して行う新たなビジネスの社会実証・実装プロジェクトを支援した。（補助上限額：3,000万円（スタートアップ加算：200万円、事業所移転加算：300万円）、補助率2/3）

区 分	採択件数	補助金額
ぐんま未来共創トライアル補助金	12件	120,489千円

- ③ 新規事業創出の手法を体系的に学び、異業種連携による社会課題解決型プロジェクト立ち上げを目指すワークショップ型カリキュラムを実施した。

区 分	事業内容	事業費
課題解決型新事業創出カリキュラム「Next Base」	実施期間：令和7年11月～令和8年1月 （全5回） 参加者数：28名（12社）	3,795千円

- ④ 地域課題やニーズを起点とした官民共創によるイノベーション創出を図るため、自治体が抱える地域課題を発表し、課題の解決に資する技術等を有する企業・団体とのマッチングを実施したほか、官民共創プロジェクト創出に向けて伴走支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんまガバメントピッチ	開催日：令和7年9月30日 登壇自治体数：3自治体 (富岡市、高山村、大泉町) 参加者数：94名	3,900千円

- ⑤ 新規ビジネス創出やイノベーション人材の育成を促すため、LAB 会員を対象に、全国の大学シーズとのマッチングによる共創プロジェクトの創出を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
異業種連携による共創プロジェクト創出支援	面談の中で各者の課題を把握し、ニーズに基づいたマッチング支援を実施した。(10月の面談にて各者の課題を把握し、1月以降にマッチング候補を交えた面談を実施) 参加者数：13者	3,658千円

(2)投資戦略促進

決算額 265,311 千円

本社機能や試験研究施設の移転、県内企業の投資拡大を促進するため、東京圏、大阪圏での営業、地域未来投資促進法等の優遇措置の活用など、誘致活動を展開した。その結果、令和7年工場立地動向調査において、立地件数(28件)で全国第8位と全国上位の実績に繋がった。また、特別高圧電力の価格高騰の影響を受けている県内事業者に対して、電気代の一部を支援した。

区 分	事業費
誘致活動及びフォローアップ(訪問件数：291件)	
特別高圧電力価格高騰対策支援金(交付件数：36件)	250,488 千円

(3)未来投資促進

決算額 3,576 千円

県内産業の高付加価値化に資する企業による県内投資を促進するため、知事による外資系企業等向けのプレゼンテーションや都内イノベーション施設を通じた企業等との交流による関係構築などを実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
外資系企業等向けプレゼンテーション	在日外国商工会議所のネットワークを活用し、群馬県の投資環境の魅力等を発信した。 県内企業の欧州への販路拡大を目的に、在日フランス商工会議所と連携したイベントを開催した。	1,001千円
都内コワーキングスペース利用	国内最大級のスタートアップ支援施設「CIC Tokyo」のコワーキングスペースを利用し、入居団体との関係構築を図った。	2,487千円

(4) スタートアップ・創業支援

決算額 53,667 千円

- ① 企業の課題解決のために、欧州スタートアップとのマッチングを支援した。

区分	内容	事業費
Gunma×EIT グローバルアウトリーチプログラム	支援対象者：6 社 プログラム提供期間：10 か月間 マッチング数：11 件	35,137 千円

- ② 金融機関、研究機関等と設立したコンソーシアムにより、研究開発型のスタートアップの創出に向けて支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
ぐんまテックプランングランプリ	大学等の研究機関や企業の科学技術の事業化を支援するため、研究シーズをプレゼンテーションするコンテストを開催した。 ・参加者：約80名 ・ファイナリスト：9チーム (エントリー 20チーム) ・パートナー企業：4社	5,000千円

- ③ 地域課題の解決に向け、新たに起業する者に対して起業支援金の交付と、起業後のフォローアップにより、創業から事業の安定化に向けて支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
地方創生起業支援	地域課題の解決に向けて新たに起業した者を対象に起業支援金の交付と起業後の伴走支援を実施した。 ・起業支援金 4名、4,757千円	13,018千円

3 地域企業支援費

(1) 貸金業対策

決算額 1,381 千円

貸金業法に基づき、資金需要者等の利益の保護を図るため、貸金業者の登録及び立入検査並びに苦情相談の処理を行った。

登 録 処 理 数 (うち更新登録)	登録業者数(令和7年度末)	立入検査件数	苦情相談処理件数
4件 (4件)	9業者	5件	3件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金積立

決算額 26,151 千円

新型コロナウイルス感染症関連制度融資に係る信用保証料補助返戻金及び運用益を基金へ積み立てた。

(3) 経営力強化支援

決算額 20,028 千円

- ① 経済環境の変化に対応して、新事業や新分野進出などに取り組み、経営の向上を目指す中小企業を支援するため、中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認を行った。計画の承認を受けた企業では、制度融資等支援措置の活用による設備投資、新たな事業活動による受注拡大のほか、社外（金融機関、取引先）からの評価の向上、社内におけるモチベーションの向上等の成果が上がっている。

区 分	件 数
経 営 革 新 計 画 の 承 認	7件

- ② 県内企業のBCP（事業継続計画）策定率向上を目指し、「群馬県版オールハザードBCP策定フォーマット」を活用したセミナーやワークショップ等により、県内企業のBCP策定支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
オールハザード型 BCP策定支援	BCPセミナー（基礎・概論セミナー）の実施 ・参加者数：76社104名 サイバーセキュリティ×BCPセミナーの実施 ・参加者数：114社142名 群馬県版オールハザードBCP策定ワークショップの開催（計3回） ・参加者数：33社40名 BCM人材育成セミナー（BCPの運用に必要な見直しに関する講演及び演習）の実施 ・参加者数：40社51名	465千円

- ③ 中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の取組を支援し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事 業 内 容	補 助 額
経営総合相談窓口運営（相談1,819件）	19,364千円

（４）事業承継支援

決算額

9,798千円

県内中小企業の円滑な事業承継を促進するため、「事業承継診断」、「事業承継計画策定支援」のほか、後継者不在事業者へのマッチング支援等を行う「ミライマッチング事業」、中小企業の後継（予定）者の新規事業等を支援する「後継者イノベーション支援事業」を実施した。また、M&Aの統合効果を最大化するために必要なPMI（経営統合作業）の実装に向けた「PMI（経営統合作業）実装支援事業」を実施した。

事 業 区 分	事 業 内 容	事 業 費
群馬県事業承継ネットワークによる事業承継診断実施等支援	県内中小企業者に対して早期承継準備を働きかけるとともに、支援ニーズの掘り起こし等を行う「事業承継診断」「事業承継計画策定支援」の実施。 ・事業承継診断実施件数：4,075件 ・事業承継計画策定件数：150件	
ミライマッチング事業	オープンネーム型マッチングプラットフォーム「ミライマッチング」を運用し、後継者不在事業者と継業希望者のマッチング支援を実施。 ・ミライマッチング支援・成約件数（累計）支援：29件、成約：10件	550千円

事業区分	事業内容	事業費
後継者イノベーション支援事業	中小企業の後継（予定）者に対し、経営リテラシー向上のための「後継者育成プログラム」、新規事業開発等を後押しする「個別支援プログラム」を実施したほか、支援の土壌形成に向けた「アトツギコミュニティ形成」に向けた交流イベントを開催。 ・後継者育成プログラム：14 者 ・個別支援プログラム：7 者 ・コミュニティイベント：計 3 回	6,520 千円
PMI（経営統合作業）実装支援事業	M&A の統合効果を最大化するために重要となる PMI の実装に向け、「PMI 実装セミナー」「PMI 実装個別支援」を実施。 ・PMI 実装セミナー：計 3 回 ・PMI 実装個別支援：3 者	2,530

（５）中心市街地・商業活性化推進

決算額

722 千円

- ① 商店街等が抱える個別具体的な課題の解決を支援するため、専門家派遣事業を実施した。
- ② 県商店街振興組合連合会が商店街振興組合に対して実施する、組合運営に関する指導、各種研修事業を支援した。

事業主体	補助額	事業内容
群馬県商店街振興組合連合会	722千円	指導事業、近代化講習、青年部研修会、後継者養成研修事業

（６）大型店対策

決算額

417 千円

- ① 県大規模小売店舗立地審議会運営

大規模小売店舗の立地に際し、その周辺地域の生活環境を保持する観点から、「群馬県大規模小売店舗立地審議会」を開催し、大規模小売店舗立地法の趣旨に則って、公平で適正な審査を実施した。

- ・大規模小売店舗立地法による審査

区分	審議件数	審議状況
新設案件	6件	意見なし：6件
変更案件（増床等）		
計	6	意見なし：6

- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会 令和 7 年度開催回数 3 回
- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会現地調査 令和 7 年度実施回数 6 回

- ② 大規模小売店舗立地法に係る届出事務処理・指導

「大規模小売店舗の地域貢献ガイドライン」に基づき、大規模小売店舗が行う様々な地域貢献活動に係る実施状況報告書等の県への提出を求めており、県ホームページで公開している。

・提出状況

(令和8年3月31日現在)

区 分	店 舗 数
地域貢献ガイドライン計画書	75店舗
地域貢献ガイドライン報告書(直近3年以内に提出)	48

※対象店舗(店舗面積6,000㎡超の大規模小売店舗)は83店舗

(7) サービス産業振興・物流機能強化推進

決算額

6,902 千円

- ① 新たなビジネスモデル構築や新事業展開を目指す事業者を対象に、顧客目線の商品開発、ビジネスモデルの転換、組織改革、資金調達等の支援を行うとともに、県内事業者に取り組事例を展開した。

区 分	事 業 内 容		事業費
地域の稼ぐ力向上モデル事業 (参加事業者6社)	ワーク ショッ プ	開催回数：全5回 第1回：中期的な経営目標と事業課題 第2回：事業戦略策定 第3回：事業戦略策定 第4回：継続的な成長のための人材採用・育成戦略 第5回：継続的な成長を目指すための生産性向上と資金計画	5,940千円
	成 果 発 表 会	参加事業者6社から、取り組事例を発表。 開催日：令和8年3月9日 会 場：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN 参加人数：27名 ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	

② 物流機能強化推進

県内の中小運送事業者に対してアドバイザー(中小企業診断士)を派遣し、運送事業者が抱える課題解決のために適切な助言・指導を行うとともに、県内事業者に取り組事例を展開した。

区分	事業内容	事業費
物流アドバイザー派遣事業 (支援業者：3社)	・アドバイザー派遣 1社あたり原則5回、1回あたりの相談時間は2時間程度 ・事例発表会 支援内容やその効果等について発表を行った。 開催日：令和8年3月13日 会 場：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN 参加人数：23名 ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式で開催	962千円

(8) 事業多角化・新分野進出支援

決算額

16,680 千円

「事業多角化支援コーディネーター」が金融機関等との連携による事業計画策定も含めた国の競争的資金獲得支援や各種マッチング支援等を通して、県内企業の事業多角化・新分野進出を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーターによる 伴走支援	企 業 支 援 件 数：239件 競争的資金獲得支援数：16社 メーカー、関係機関等とのマッチング数： 2件	16,659 千円
セミナー・研修事業開催	(1)セミナー「BUSINESS CONFERENCE」 群馬県内の製造業の経営者や後継者等を対象に、事業の多角化や新分野への進出を促進するため、新規事業の創出や事業展開に関する知見の提供を目的としたセミナーを開催。 開催日：令和7年9月11日、9月12日 参加者：59名 (2)研修「ぐんま実践事業多角化スクール」 事業環境の変化に対応した新規事業の創出や事業多角化を促進するため、経営者、後継者及び新規事業責任者を対象とした全4回の研修を開催。 開催日：令和7年12月9日、12月10日、 令和8年1月15日、2月20日 参加者：11社11名	

(9) 受発注振興対策

決算額

21,020 千円

- ① 展示商談会「ぐんま Tech EXPO」を実施するほか、常設オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」を活用し、リアルとバーチャルのハイブリッドで販路拡大・ビジネスマッチングを支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんま Tech EXPO 2025	開 催 日 程：令和7年9月11日、9月12日 場 所：Gメッセ群馬 出展企業数：190社 来 場 者 数：2,711人 商 談 件 数：1,313件	7,127 千円

- ② 取引の受発注のあっせん、経営及び技術指導、情報提供等の事業を行う群馬県産業支援機構への補助を通じ、下請中小企業の経営の安定化を図った。

区 分		事 業 内 容	事 業 費
下 請 中 小 企 業 取 引 情 報 提 供 等 事 業 費 補 助	下請あっせん	企業訪問件数：518件 あっせん件数：328 成 約 件 数： 36	13,494千円
	関 東 5 県 ビ ジ ネ ス マ ッ チ ン グ 商 談 会	開 催 日：令和7年8月27日 参 加 企 業： 48社 商 談 件 数：217件	
	個別マッ チ ン グ	参加企業：56社 商談件数：122件	

(10) 中小企業技術振興対策

決算額

57,173 千円

中小企業の新技術・新製品開発に補助し、デジタル技術を活用した製品開発やDX推進等を支援することにより、「稼ぐ力」の向上を図り、競争力を高めた。

区 分	事業者数	対象事業費	補助金額
ぐんまDX技術革新補助金	11 者	109,027 千円	46,402 千円
ぐんま技術革新チャレンジ補助金	24 者	26,039 千円	8,290 千円

(11) 次世代モビリティ産業参入支援

決算額

44,527 千円

(公財)群馬県産業支援機構に設置した「自動車サプライヤー支援センター」において、コーディネート活動や電動化への技術支援の強化及びデジタル化対応に向けた人材育成等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーター	専任コーディネーターが県内自動車サプライヤー企業等からの相談に対応 (50 社・100 件)	44,527 千円
人材育成講座	EV化を見据えた関連技術の知識や技術の理解を促進し、ハードウェアとソフトウェアの両方の知識を有するエンジニアを育成。 ①CAE基礎講座（樹脂射出成形向け） 開催日程：令和7年12月10日、12月11日 参加人数：9名（5社） ②CAE基礎講座（プレス成形向け） 開催日程：令和7年11月19日、11月20日 参加人数：14名（7社） ※プレス成形向けについては、参加者を変えて2日間実施 ③デジタルものづくり人材育成報告会 MBD/CAE最新技術展示会 開催日程：令和8年3月6日 参加人数：87名（56社）	

区 分	事 業 内 容	事業費
E Vティアダウン ワークショップ	E V車両に用いられる素材、工法、構造等をワークショップにて他のサプライヤーと共有し、技術の把握・研究開発に活かすことを目的に実施。 開催回数：全 5 回 第 1 回 キックオフ 第 2 回 車両分解及び分解過程見学 第 3 回 分解・解析計画の共有 第 4 回 分解・解析フォローアップ 第 5 回 解析成果報告 参加人数：47 名（14 社）	
新技術・新工法 展示会 in Astemo	県内自動車サプライヤー企業の技術提案を目的とした技術マッチングを開催（埼玉県、栃木県、長野県と合同で開催） 開催日程：令和 7 年 9 月 18 日、19 日 開催場所：Astemo 株式会社 出展社数：20 社 来場者数：291 名	

(12) スマートファクトリー創出支援

決算額

32,045 千円

デジタルソリューションラボを拠点に、IoT・AI・ロボット・5G 等のデジタル技術を導入してスマートファクトリー化を目指す県内中小企業を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーター	①スマートものづくりコーディネーター デジタル技術導入推進のため、コーディネーターを配置し、企業の現場で助言・指導を実施 導入支援数：40 社 ②ロボット導入支援専門家派遣 ロボット導入に係る相談対応を実施 専門家派遣：8 社 ③情報セキュリティ対策専門家派遣 情報セキュリティ対策に係る相談対応を実施 専門家派遣：6 社	22,071 千円
ロボットシステム インテグレーター 育成講座	開催日程：令和 7 年 10 月 6 日～10 月 8 日 参加人数：25 名	
DX 推進人材育成 研修	開催日程：令和 7 年 12 月 4 日、12 月 5 日 参加人数：12 名	

区 分	事 業 内 容	事 業 費
スマートファクトリー化支援セミナー、先進事例勉強会	①スマートファクトリー化支援セミナー 開 催 日：令和 7 年 9 月 12 日 参加人数：65 名 ②先進事例勉強会 開催日程：令和 7 年 11 月 17 日、11 月 18 日 参加人数：10 名	
IoT 活用セミナー、IoT 人材育成講座	①IoT 活用セミナー 開 催 日：令和 7 年 9 月 11 日 参加人数：55 名 ②IoT 活用人材育成講座 開催日程：令和 7 年 10 月～令和 8 年 1 月（7 回） 参加人数：25 名	4,481 千円
3D 金属積層技術講座	開催日程：令和 7 年 10 月（4 日間） 参加人数：13 名	2,198
3D 金属積層実用化支援	支援期間：令和 7 年 9 月～令和 8 年 1 月 支 援 先：3 者	3,295

(13) ぐんまスペース&エアロプロジェクト 決算額 10,341 千円

衛星データ利活用サービスを展開する企業と県内企業とのマッチングを実施し、衛星データを活用したビジネス創出を支援するとともに、県政分野での活用可能性を調査した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
①地表変動検知システム基盤提供事業	地表変動検知システムを県に導入。	5,115 千円
②地表変動検知システムの行政課題活用事業	同システムの県政分野での活用可能性を調査。	4,928

(14) 地場産業総合振興対策 決算額 72,211 千円

- ① 県内の繊維産業産地の活性化を図るため、「産地組合」や「企業グループ」が行う事業に対して補助した。

区 分	事業者数	事 業 内 容	補助金額
繊維産業産地活性化推進補助金	4団体	本県繊維製品の販路開拓、地域ブランド確立及び人材育成等に対する支援	8,071千円

- ② 繊維業界において先進的な取組を行う県内外のファクトリーブランド等を集めた展示販売会を実施し、群馬県の繊維産業を P R した。

区 分	事 業 内 容	事業費
GUNMA FASHION MARKET	開 催 日：令和8年3月7日～8日 来場者数：2,684人 協力企業：34社	12,438千円

- ③ リトリートをテーマとした地場産業の商品・サービス開発プロジェクト「GUNMA JIVA CREATE LAB. (ぐんま地場産商品開発プロジェクト)」を実施し、新たな商品開発及び魅力発信を通じて、地場産業の活性化を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
リトリート関連商品等 開発支援事業	参 加 者：3チーム 開発商品数：3(繊維・地酒・伝統工芸品)	4,717千円

- ④ 地酒振興の柱の一つである「県産地酒の認知度向上」に向け、大規模試飲イベント「KANPAI! GUNMA 2025」を開催し、県内地酒のPR等を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
KANPAI! GUNMA 2025	日程：令和7年10月3日(金)、4日(土) 会場：Gメッセ群馬 来場者数：5,697人 出店者数：58者	25,045千円

- ⑤ 地酒振興の柱の一つである「良質な県産酒米の生産・供給体制確立」に向け、産業技術センターにおける機器整備を行うとともに、酒米生産者に対する表彰制度を創設した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
酒造関係機器整備	近赤外線測定装置	9,020千円
群馬県酒米生産者表彰	受賞者数：(功績部門)4者、(品質部門)5者	102千円

- ⑥ 県産酒米の利用拡大・作付拡大を図るため、酒米の価格高騰に直面している酒造事業者の県産酒米調達を補助した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
群馬県酒米調達促進補助金	交付者数：6者	10,424千円

- ⑦ 郷土の自然とくらしの中で育まれ、受け継がれてきた伝統的な工芸品の存在を広く県民に認知してもらうため、展示会を開催した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
群馬県ふるさと伝統工芸品展	開催日程：令和7年6月6日～6月9日 場 所：県庁県民ホール 出展品目：19品目 来場者数：2,680人	2,096千円

(15) 海外ビジネス展開支援

決算額

37,469 千円

- ① 事業者の海外展開に関する具体的な課題解決のため、ジェトロや金融機関等の支援機関と連携して事業を実施した。

区 分	事業内容
ジェトロ群馬貿易情報 センターとの連携	・貿易投資相談件数：206件 ・セミナー、商談会：20回 ・ハンズオン支援：14社

- ② 輸出に関する基礎知識の習得から実践となる商談会参加までを一貫して体験する、パッケージ型の支援を行った。

区 分	事業内容
グローバルビジネス実践塾	参加企業数：13社（加工食品・雑貨事業者） セミナー・ワークショップ：4回

- ③ 国際見本市に群馬県ブースを設け、県内企業に海外バイヤーや国内商社との商談機会を提供した。

区 分	事業内容	事業費
東京インターナショナル・ギフト・ショー春2026	開催日程：令和8年2月4日～6日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：8社 商談件数：181件	2,400千円
FOODEX JAPAN2026	開催日程：令和8年3月10日～13日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：8社 商談件数：522件	4,014千円

- ④ 越境ECへの参入を目指す事業者を対象に、基礎的なセミナーやテストマーケティング等の支援を行った。

区 分	事業内容	事業費
越境EC参入支援事業	参加企業数：10社 出品商品数：10品 販売金額：118,792円	3,199千円

- ⑤ 特定の国や取引先への依存リスクを低減し、新たな販路開拓を支援するため、中堅・中小企業等を対象に、国内外の展示会や見本市への出展費用を補助した。

区 分	補助事業者数	補助金額
EXPO チャレンジ支援補助金	36 者	14,566 千円

- ⑥ 近年、群馬県が関係強化を進めてきたベトナムの大学と、群馬県内企業との間で試行的にインターンシップを実施した。

区分	実施結果	事業費
ベトナム大学生インターンシップ事業	連携大学：FPT 大学 1 名 受入企業：1 社 実施期間：2 週間	980 千円

(16) 産業技術センター 決算額 861,375 千円

- ① 県内企業の新製品開発や製品の付加価値の向上に対する支援をより一層充実させるため、試験機器等を整備した。

区 分	機 器 名	事業費
産業技術センター整備	リニア飛行時間型質量分析計	44,847千円

- ② 中小企業が必要とする技術情報の提供を行うとともに、技術者の研究開発能力の向上、技術課題の解決を図るための人材育成に関する研修等を開催した。

区 分	事業内 容
技術情報の提供	産業技術センター技術情報「まる得通信」配信：45,630件 ホームページによる情報提供（アクセス数：373,509件）
中小企業技術研修	受託研修（4課程）受講者：72人

- ③ 企業からの依頼による受託研究、企業とセンターとの共同研究を実施し、企業の技術開発力の向上を支援した。また、国等からの外部資金を積極的に導入し、実用的な研究開発に取り組んだ。

区 分	実施件数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	7件	23,000千円
受 託 研 究	57	52,749
次 世 代 産 業 創 出 研 究	1	1,000
試 験 ・ 分 析 高 度 化 研 究	10	8,000
国等の競争的資金を活用した研究	4	4,522

以上の実用化を前提とする開発研究に取り組んだ結果、8件の特許出願（県と企業等との共同出願）を行った。

- ④ 技術開発に関する企業からの相談や分析・試験・加工等の依頼試験に応じるとともに、センターが保有する計測機器等を開放し、県内企業の製品開発力、技術力の向上を支援した。

区 分	件 数
技 術 相 談	17,793件
依 頼 試 験	24,126
機 器 開 放	2,517

(17) 繊維工業試験場

決算額 178,463 千円

- ① 県内繊維関連企業の製品品質管理や製品開発を支援し、県内繊維製品の高付加価値化を図るため、機器整備を実施した。

区 分	整 備 内 容	事 業 費
伝 統 織 物 研 究	テキスタイルデザインシステム	4,576千円

- ② 中小企業が必要とする技術情報をホームページ・情報誌等で提供するとともに、講師派遣・講演会等を行った。また、中小企業の人材育成のための研修を行った。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	「せんい技術情報」等の発行・発信（延べ4,500件）
研 究 発 表 等	研究発表：6件、講師派遣：14件、講演会等：4件
人 材 育 成	専門技術研修（1課程） 受講者：7人

- ③ 企業と県で研究経費を負担し合う公募型共同研究、企業からの依頼による受託研究、国等の外部資金を活用した外部資金研究及び企業、大学等との共同研究を行い、企業の技術開発力の向上を支援した。

区 分	件 数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	5件	2,000千円
受 託 研 究		
外 部 資 金 研 究	7	10,582

- ④ 企業のニーズに応じて、繊維製品に関する物理試験・化学試験をはじめ分析、加工、分解などの依頼試験等を行い、繊維業界の製品開発力・技術力の向上を図った。また、企業の抱える様々な技術問題に対応するため技術相談を行った。

区 分	件 数
依 頼 試 験 等	3,201件
技 術 相 談	3,787

4 観光魅力創出費

(1) リトリート推進

決算額

386,207 千円

① リトリート基盤整備

ア リトリート環境整備（ハード事業）

地域が一体となって取り組む面的な整備に対し、3件支援した。

実施主体	事業内容
桐生市黒保根町観光環境整備コンソーシアム	黒保根エリアにおける周遊性・長期滞在化のため、水沼駅周辺を整備
草津町リトリート推進共同体	温泉街周辺への周遊性を高めるため、スキー場のレストハウスを通年利用可能な施設へリニューアル
館林市里沼リトリートコンソーシアム	里沼の観光資源をアートという付加価値で磨き上げ、城沼・茂林寺沼周辺を面的に整備

イ 長期滞在客等受入促進（ソフト事業）

県内旅行の長期滞在化及びコンテンツの付加価値向上を図るため、地域のソフト面での取組の動き出しに対して、3件支援した。

実施主体	事業内容
草津町リトリート推進共同体	ペット連れ旅行者向けの大規模イベントの実施や、PR動画の製作・ホームページ構築による情報発信体制の整備など
群馬県スキー場経営者協会	公認資格取得コース・モデルコースの新規造成や、SNSを活用した情報発信など
MINAKAMI LIGHT FESTIVAL 実行委員会	「MINAKAMI LIGHT FESTIVAL」と題した夜間コンテンツイベントを開催し、ライトアップ演出等の特別企画を実施

② リトリートブランド構築

リトリートのイメージ定着・促進に向けて、キャッチコピー「おかえり、本当のわたし」を活用し、首都圏でのプロモーションを展開したほか、リトリートプランの商品化促進に向けてプラン造成・販売支援を行った。

区 分	事業内容	実績（令和8年3月末現在）
リトリートプラン造成・販売支援	宿泊予約サイトの連携を含め、宿泊施設のプラン造成・販売を支援	・参画施設数累計：192施設
リトリート動画広告配信	リトリートPR動画を各種広告媒体にて配信	リーチ数 ・トレインチャンネル ：10,673,000人（推定） ・TVer広告：291,282人 ・映画館CM：188,666
SNS広告配信	YouTube、InstagramにてリトリートPR広告を配信（2回）	・YouTubeインプレッション数 ：1,255,289回 ・Instagram総リーチ数 ：1,741,246人

③ ペットツーリズム推進

群馬県へのペット同伴旅行の新規需要獲得に向け、各種事業を実施した。

区 分	事業内容
実証事業	首都圏の「わん旅ビギナー」を対象とした「わん旅ぐんま」モニターツアーの実施及びPR動画・特集記事の制作
マナー普及啓発	冊子「愛犬とお出かけノート」の制作・配布
受入体制整備	市町村・事業者を対象とした説明会の開催（2回）

(2) インバウンド誘客促進

決算額

67,246 千円

① インバウンド基盤整備

多言語の観光情報ウェブサイト「Visit Gunma」の情報追加や、SNS による定期的な情報配信により、群馬県の情報を取得しやすい環境を整えた。

また、インバウンド誘客に積極的に取り組む宿泊施設や飲食店等の観光事業者を「パートナー施設」として登録し、オンライン研修会等を通じて受入体制のレベルアップを図ったほか、「サステナブルな観光」の推進に向け、国際認証の取得支援及び市町村や観光事業者等を対象とした意識醸成セミナーを開催した。

区 分	対応言語・実施内容	実績（令和8年3月末現在）
多言語情報ウェブサイト 「Visit Gunma」	英語・中国語（簡体字・繁体字）・タイ語	セッション（訪問回数） 英 語：303,519 繁体字：107,238 簡体字：37,314 タイ語：59,804 計：507,875
Facebook	英語・中国語（繁体字）・タイ語	フォロワー数（人） 英 語：29,069 繁体字：40,727 タイ語：53,436 計：123,232
Instagram	英語・韓国語	フォロワー数（人） 英 語：12,647 韓国語：3,764 計：16,411
外国人誘客のためのパートナー施設	インバウンドに関心のある観光事業者をパートナー施設として登録し、研修会や情報提供等を実施	新規登録 4 施設 累計登録数 246 施設
インバウンド受入環境整備のための研修会開催	パートナー施設を対象としたオンライン研修会の開催	セミナー：計 2 回実施、計 40 人が参加

区 分	対応言語・実施内容	実績（令和 8 年 3 月末現在）
「サステナブルな観光」取組推進	市町村及び観光事業者等を対象としたサステナブル意識の醸成を促すセミナーの実施、専門家によるサステナブル国際表彰・認証取得を支援	セミナー：計 1 回実施、計 19 人が参加 サステナブル国際表彰・認証取得支援：3 モデル地域
交通チケットのデジタル化推進	令和 6 年度に造成した「GunMaaS」を活用した主要観光地と県内 J R 駅を結ぶインバウンド向け電子交通チケットの P R を実施	記事広告：1 件 広告記事のページビュー（閲覧数）：7,547 回

② 高付加価値型コンテンツの創出

都内外資系ホテル担当者をアドバイザーとして任命し、既存コンテンツの調査を行ったほか、今後のコンテンツ造成に向けた方向性を整理するための事業者との意見交換等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
素材・既存コンテンツの視察	アドバイザーによる素材や既存コンテンツ視察を実施	計 5 日開催 計 13 件視察
事業者との意見交換	事業者およびアドバイザーによる視察をふまえたフィードバックおよび意見交換を実施	計 6 回開催 計 14 事業者参加
アンケート調査	インバウンド旅行者を対象としたアンケート調査の実施	計 16 日実施 アンケート回収数：337 件

③ 海外情報発信・プロモーション

（公財）群馬県観光物産国際協会が実施する海外情報発信・プロモーションに係る事業に対して、同協会への補助を行った。

また、海外で人気の高いコンテンツである「頭文字 D」を活用した、新たな切り口のインバウンド誘客に向けて、県として国内外におけるニーズ調査を実施するとともに、関係市町村等との協議会を設置した。

区 分	実施内容	実 績
海外旅行博等への出展 （協会事業）	ターゲット市場における旅行博、イベント等への出展	出展回数 5 回 ・ Snow Travel Expo 2025（豪州） ・ 台北旅行展示会（台湾） ・ 台北駅群馬県 PR イベント（台湾） ・ 大台南国際旅展商談会（台湾） ・ The Japan Rail Fair 2025（シンガポール）

区 分	実施内容	実 績
「頭文字D」を活用したインバウンド誘客促進事業	国内外ファンを対象としたニーズ調査 推進協議会の設置・開催	アンケート回収数：1,371件 協議会開催数：5回

④ 広域連携誘客促進

北関東三県や北陸新幹線沿線地域との広域連携等により、海外旅行博におけるPRや海外メディアを活用した広告事業等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
北関東三県広域観光推進協議会	ATTA 台中国際旅行博	アンケート回収数：670件
北陸新幹線沿線地域広域連携	海外メディアを活用した記事広告	本県関連記事掲載海外メディア：2社
関東広域観光機構	SNS等オンライン情報発信	Facebookリーチ数（本県分）：435,897回

⑤ インバウンド推進員設置

観光情報の収集・翻訳・発信等を行う会計年度任用職員を雇用し、Facebookページやウェブサイト、各種プロモーション資料等、多言語での観光情報発信を行った。

(3) 観光事業振興対策

決算額 286,482千円

① 観光宣伝

首都圏からの誘客促進及び群馬県のプレゼンス向上を目的に観光宣伝を実施した。

区 分	事業内容	事業費
J R 東日本と連携した誘客促進	- J R 東日本高崎支社と連携し、高崎駅舎内外をぐんまちゃん一色に装飾した大規模イベント「ぐんまちゃん高崎駅ジャック」を開催 - 期間中は本イベント限定の特別な企画や、首都圏のJ R 主要駅で本イベントや群馬観光のPRを実施 開催日 7月1日～7月31日 場 所 J R 高崎駅、首都圏J R 主要駅（新宿駅など） 主な事業 高崎駅舎内外をぐんまちゃん一色に特別装飾 グリーティングの実施、特別列車の運行	25,000千円
ぐんまの山岳観光推進	- 登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進 - 山岳特集記事の作成及び特集ウェブページへの掲載 【デジタルバッジキャンペーン】 実施期間：①7月12日～9月12日 ②9月13日～11月16日 バッジ獲得ユーザー：①：夏山18,289人 夏温泉823人 ②：秋山 4,996人 秋温泉743人	6,816
国内広域連携	- ドラ割「北関東周遊フリーパス」（ETC車限定で北関東三県内の高速道路が定額で乗り降り自由）の実施 - 高速道路会社と連携した北関東三県誘客イベントの実施	600

② 群馬県域DMOの推進

多様な関係者と連携して観光地域づくりを進めるため、県域観光地域づくり法人(DMO)である(公財)群馬県観光物産国際協会の補助事業として実施した。

区 分	内 容	実 績
データプラットフォームの構築	各種のデータ(ビッグデータや統計データ、アンケート調査データ等)を県域DMOに集約し、観光客の動向や地域の課題をテーマに分析レポートを作成し、関係機関等に提供した。	レポート作成 39件 (内訳) データ分析等 39
観光統計整備	データプラットフォーム構築に向けた取組の一環として各市町村の観光の現状と課題を把握するため、観光入込客数等の調査を実施した。	四半期調査 35市町村に照会 データ集計・報告 地点調査 県内29地点におけるアンケート調査の実施・集計・報告

③ ぐんまビジタートイレ認証

誰もが清潔で安全・安心・快適に利用できるトイレを「ぐんまビジタートイレ」として認証することにより、県内観光地のイメージアップと集客を図った。

区 分	認証箇所数
新規認証	5箇所
更新認証	166

※認証箇所総数：255箇所

④ ユニバーサルツーリズム推進

高齢者や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく旅行を楽しむことができる「ユニバーサルツーリズム」を推進するため、ぐんまユニバーサルツーリズム相談窓口の運営やセミナーを開催した。

(4) 物産振興対策

決算額

236千円

県産品の普及と品質向上を図るため、2年に一度の審査会を開催し、一定の基準を満たす県産品を「群馬県優良県産品」として認定しているほか、(公財)群馬県観光物産国際協会と連携し、県内の百貨店を活用した観光物産展を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

また、本県を代表する「近代こけし」について展示販売を行うなど県内物産の振興を図った。

区 分	事業内容
群馬県優良県産品推奨制度	県内の事業者が企画製造販売を行う加工食品、工芸品等を審査の上、「群馬県優良県産品」として認定。 ※推奨期間：令和6年4月～令和8年3月 ・認定事業者数 135事業 ・認定商品数 254品

区 分	事業内容
物 産 展 開 催	主な観光物産展の開催状況 ・高崎高島屋 出展者数：75団体 売上げ：39,964千円 ・スズラン前橋店 出展者数：60団体 売上げ：31,476千円
全群馬近代こけしコンクール	こけしの品質、意匠の改良及び技術の向上を図り、本県の「近代こけし」産業の振興発展に寄与するため、「第66回全群馬近代こけしコンクール」を開催した。 一般公開日：令和8年2月7日～2月9日 出品数：252点

(5)大阪事務所運営 決算額 12,694 千円

関西地域を中心に、群馬県への誘客促進を図るため、本県の魅力ある観光地や特産物などを効果的に宣伝したほか、企業誘致活動等を実施した。

区 分	件 数	内 容
観 光 展 ・ 物 産 展 開 催	27回	イベント出展、観光案内
観 光 ・ 物 産 案 内	2,581人	来所、電話
企業誘致活動	39件	企業訪問、Web会議等

5 eスポーツ・クリエイティブ推進費

(1) eスポーツ推進 決算額 52,115 千円

① U19e スポーツ選手権 2025

群馬県のブランド力向上及び県内関連産業育成を図るため、19歳以下のチームによる全国規模のeスポーツ大会「U19e スポーツ選手権」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間：令和7年11月(4日間・オンラインにて開催) 競技種目：2部門 参加チーム数：全177チーム
決 勝	開催日：令和7年12月21日 場 所：Gメッセ群馬 展示ホール 観覧者数：325人 動画視聴回数：107,847回(令和7年12月26日時点)

② 第5回全日本eスポーツ実況王決定戦

eスポーツ大会に欠かせない実況者の育成及び登竜門となる国内唯一のeスポーツ実況者の大会「全日本eスポーツ実況王決定戦」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間：令和 7 年 11 月(提出された実況動画を審査) エントリー数：18 人
決 勝	開催日：令和 7 年 12 月 20 日 場 所：G メッセ群馬 展示ホール 観覧者数：650 人 動画視聴回数：23,796 回(令和 7 年 12 月 26 日時点)

③ 群馬県企業等対抗社会人 e スポーツリーグ 2025(愛称：GUNMA LEAGUE)

e スポーツを通じた社内コミュニケーションの活発化や社外人材との交流促進、若者への企業認知度向上を目的に、群馬県内の企業対抗 e スポーツ大会を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催日：令和 7 年 12 月 4 日 場 所：JOMO スクエア 1 階・2 階
決 勝	開催日：令和 8 年 1 月 29 日 競技種目：2 部門 場 所：群馬県庁 1 階県民ホール 参加チーム：33 社 55 チーム(予選含む)

④ e スポーツ拠点化促進

大規模大会の開催誘致・支援のほか、全国規模の展示会やイベントへの出展、登壇を通じて群馬での e スポーツ関連の取り組みを発信した。

・ IDGA 日本セミナー「e スポーツで社会の課題を解決する人々 ～e スポーツ×地域創生～」 登壇 令和 7 年 8 月 22 日 Red Bull Gaming Sphere Tokyo (東京)
・ TOKYO GAME SHOW 2025 出展 令和 7 年 9 月 25～28 日 幕張メッセ
・ 全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2025 県代表決定戦 共催 令和 7 年 10 月 4 日 NETSUGEN
・ 東京 e スポーツフェスタ 2026 登壇 令和 8 年 1 月 9 日 東京ビッグサイト

⑤ e スポーツ関連産業・人材育成

e スポーツに関連する学生対象の人材育成事業を実施した。令和 7 年度は、e スポーツプロチームのコーチ経験者を招き、練習・交流会を開催した。

区 分	事業内容
ぐんま e スポーツキャンプ	開催日：令和 7 年 9 月 13 日・10 月 5 日・10 月 11 日 場 所：磯部ガーデン及びオンライン 受講者数：計 20 人(オフライン 13 人、オンライン 7 人)

⑥ 福祉分野(障害者、高齢者)での活用

年齢・性別・身体能力等にかかわらず、誰でも参加しやすい e スポーツの特徴を生かし、障害者・高齢者関係団体等と連携の上、福祉分野での e スポーツ活用に取り組んだ。

・高齢者向け e スポーツ体験会での講師（全 2 回） （主催：（公財）群馬県長寿社会づくり財団） 令和 7 年 7 月 4 日 渋川市会場（金島ふれあいセンター） 令和 7 年 9 月 5 日 千代田町会場（総合保健福祉センター）
・ぐんまインクルーシブフェスタ 2025 を県教委と共催 （共催：群馬県、群馬県教育委員会） 令和 7 年 8 月 4 日 高崎イオン、太田イオン
・まえばしインクルーシブフェスタ 2025 にブース出展 （主催：まえばしインクルーシブフェスタ実行委員会・前橋市） 令和 7 年 9 月 23 日 道の駅まえばし赤城
・からっかぜパーク（多文化共生イベント）にブース出展 （主催：群馬県・からっかぜパーク実行委員会） 令和 7 年 10 月 25 日 群馬県庁（県民広場・県民ホール）

（２）施設活用

決算額 118,330 千円

① G メッセ群馬の運営

指定管理者と連携し、適正な管理・運営を実施した。

ア G メッセ群馬利用実績（令和 7 年度）

区 分	実 績			
利用件数	875 件（催事別内訳）			
	学会・大会	29 件	式典	10 件
	講演会・セミナー	223	その他イベント	82
	会議	343	コンサート・ライブ	3
	展示会	70	その他興行	15
	試験・就職説明会	98	自主事業	2
日数稼働率	施設全体 : 95.8% 展示ホール : 51.7 メインホール : 69.4			
来場者数	350,534 人			
収支	36,606 千円（収入：720,175 千円、支出：683,569 千円）			

イ 主な点検・改修等

業 務 名
北口線植栽管理工事
雨水排水ポンプ設備点検保守業務
雨水貯留槽点検清掃業務
館内サイン改修工事
駐車場精算機新紙幣・新 500 円硬貨改修工事
群馬コンベンションセンター積算電力量計更新工事

② MICEの推進

MICEの誘致活動、開催支援及びイベント主催者と県内事業者のマッチング支援について、「群馬県コンベンションビューロー」と連携し実施した。また、東京で開催されたMICEに関する展示商談会へ（公財）群馬県観光物産国際協会及び（公財）前橋観光コンベンション協会とともに出展した。

※MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition／Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

ア MICE誘致・マッチング支援実績

区 分	件 数
MICE誘致件数	11 件
マッチング支援件数	32

（３）クリエイティブ拠点化推進

決算額 28,465 千円

① Gメッセ群馬整備促進

Gメッセ群馬クリエイティブ拠点化（R6策定）に基づき、今後整備を予定している施設について、具体的な機能や機材の導入に係る調査等を行った。

区 分	事業内容
サウンディング調査	参加企業 クリエイティブ企業 21 社

② 知事トップセールス・トップ外交

業界大手のクリエイティブ企業に対し、デジタルクリエイティブ人材育成での連携や大型映像作品制作の誘致をするため、知事によるトップセールスを実施した。

区 分	事業内容
トップセールス	クリエイティブ業界団体にトップセールスを実施 令和7年4月11日 （一社）日本映画製作者連盟 令和8年3月23日 （一社）日本映画製作者連盟

（４）映像制作サポート

決算額 212,281 千円

① ぐんまフィルムコミッションによるロケ誘致

ぐんまフィルムコミッションを総合窓口として、県内のフィルムコミッション・市町村と連携し、映画・ドラマ等の撮影支援を実施した。

区 分	件数
映画・ドラマの支援等	・相談件数：502 件 ・支援件数：72 件（撮影日数 286 日）

② 県内ロケ地等開拓

県内ロケ受入体制拡充のため、撮影に活用できるロケ地やロケ弁・機材レンタル等に対応できる県内事業者を開拓し、ホームページに掲載した。

区 分	事業内容
県内ロケ地等開拓	・ロケ地：38 件 ・撮影を支援する事業者：15 社

③ 情報発信

ぐんまフィルムコミッションの専用サイト・SNSを活用し、撮影を支援した作品のロケ地等をPRした。

区 分	件数
ぐんまフィルムコミッション専用サイト	ページビュー(閲覧数): 802,488回 (期間: 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)
公式X(【群馬県公式】ぐんまフィルムコミッション)	フォロワー数: 7,532人 (令和8年3月31日時点)

(5) クリエイティブ人材育成

決算額 66,188 千円

① デジタルクリエイティブ人材育成

群馬県独自のデジタルクリエイティブ人材育成拠点「tsukurun」を運営するとともに、デジタルクリエイティブ人材の育成、発掘及びレベル向上のため、デジタルクリエイティブコンテストを実施した。

ア tsukurun の概要

場所: アクエル前橋2階
対象者: 県内在住在学の小中高生
体験できる主な技術: 3DCG、2DCG、ゲームエンジン、VR、VFX など

イ tsukurun 令和7年度実績

年間利用者数: 5,780人(令和6年度: 4,915人)
新規登録者数: 465人
イベント実施回数: 152回
出張講座: 20回

ウ デジタルクリエイティブコンテストの実施

応募件数: 前期(8月16日～9月30日) ……184作品
後期(12月20日～1月31日) ……213作品

(6) TUMO Gunma 運営

決算額 291,925 千円

① TUMO Gunma 運営

アルメニア共和国発祥の国際的に評価の高い人材育成プログラムをアジアで初めて導入した「TUMO Gunma」を開設・運営した。

ア TUMO Gunma 概要

場所: Gメッセ群馬4階
対象者: 12～18歳
導入分野: 3Dモデリング、ゲーム開発、グラフィックデザイン、
アニメーション、プログラミング、ドローイング、
モーショングラフィックス、映像制作

イ TUMO Gunma 令和7年度実績

年間利用者数: 15,023人(令和7年6月のオープニングセレモニー以降)
新規登録者数: 806人
外部講師イベント実施回数: 5回